

# キュウリの接ぎ木活着に強い味方 活着率がグーンとアップ! 活着促進剤

新商品

# 「かっちゃん」

(商標登録申請中)

現在、キュウリの栽培では、ブルームレス台木の普及などにより約90%が接ぎ木苗となっています。近年セル成型苗が主流になりましたが、同様に接ぎ木養生中の萎れによる活着不良・本葉3枚目以降の奇形葉・芯止まりなどの問題も増えています。今回タキイでは接ぎ木直後に散布するだけで、これらの問題を回避できる画期的な商品「かっちゃん」を4年間にわたる試験を経て、開発いたしました。

タキイ研究農場 増田 晃士

## 「かっちゃん」の 使用方法

- ① 「かっちゃん」をスプレー容器に移し替えるか(写真)、ノズルを「かっちゃん」の容器に直接差し込みます(写真)。
- ② 接ぎ木直後(挿し接ぎ・呼び接ぎ・ピン接ぎ)に、「かっちゃん」を薄めず散布します(写真)。散布は、穂木の生長点が湿る程度にしてください(写真)。散布量は、1トレイ(72穴)当たり約10mlで、「かっちゃん」1本で約2,000~3,000本の苗散布が可能です(写真)。

### 使用上の注意

処理は接ぎ木直後の1回だけにしてください。養生中に何度も散布しますと障害が発生することがあります。  
ほかのウリ科作物(スイカ・メロン)にも使用することができます。

移し替え



差し込み



薄めず散布



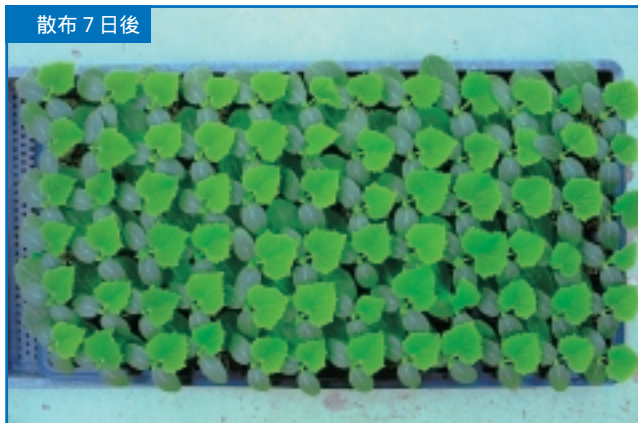
湿る程度に



散布5日後



散布7日後



## 「かっちゃん」の 効果

- ①水による霧吹きに比べ、穂木が萎れにくく、接ぎ木活着率が向上。
- ②接ぎ木養生日数の短縮が可能。
- ③本葉3枚目以降の奇形葉・芯止まりが減少。
- ④本葉0.5～1枚までの生育を促進。

これらの効果は、接ぎ木前育苗の日照量・温度不足、養生中の温度・湿度不足など、条件が悪い時に特に発揮され、違いが分かります。

### 「かっちゃん」散布試験結果

H13.2.8播種（H13.2.17接ぎ木）（ピン接ぎ法）

穂木：シャープ1、台木：ニュースーパー雲竜

#### 管理方法

接ぎ木直前まで昼温20～22、夜温12～13 管理  
接ぎ木直前まで昼温20～22、夜温16～17 管理

#### 活着本数 H13.2.25調査（接ぎ木後8日目）

- ・水散布 14/18（18本のうち14本活着） 18/18
- ・かっちゃん散布 18/18 18/18

#### 本葉4～5枚目の奇形葉本数

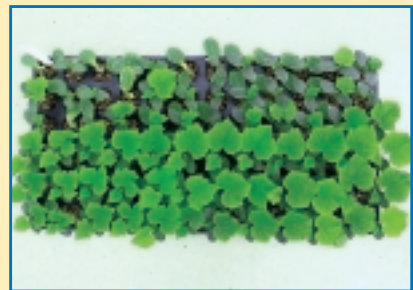
H13.4.1調査（接ぎ木後44日目）

- ・水散布 6/18（18本のうち6本に奇形葉発生） 1/18
- ・かっちゃん散布 0/18 0/18

試験結果から、夜温15以下の悪条件の場合では、水散布処理区に比べて「かっちゃん」処理区は、活着率・奇形葉発生本数減少に大きな効果をもたらすことが分かります。



散布7日後  
(左): 水、(右): かっちゃん



これだけの差が出ることも。  
(上): 水、(下): かっちゃん

**「かっちゃん」の処理では、1株当たりにかかるコストは1円以下です。  
低コストで大きな効果の「かっちゃん」を一度お試しください。**

### 日照条件の悪い中で効果がありました。

私は、山形県の尾花沢で苗作りを営んでいます。ご承知の通り当地はスイカの産地で、シーズン中には大量のスイカ苗を生産するのですが、スイカ以外にもナスやキュウリの接ぎ木苗も仕立てています。キュウリの接ぎ木は断根挿し接ぎで3万本ほど仕立てますが、この地域は、4月15日ぐらいまでは雪が残り、日照条件も厳しいものがあります。5月の納品に向けて生産中の苗が、3～4月の曇天にあたると困ってしまいます。天候がよければ90～95%歩どまりする苗が、天候が悪いと75%ぐらいになっていました。大量に作るスイカの苗ならともかく、予備のロット数が少ないキュウリの苗では死活問題です。そんなとき地元の鈴乃園さんから「かっちゃん」の試作品を紹介されました。ロット数の少ないキュウリ

に試してみたところ、接ぎ木して1週間後、苗がふらふらとして歩どまりが悪くなったところに、スプレーすると、弱っていた苗がたちまちちゃんとしてきたのです。これは効果があるぞと次の年も取り寄せて使ってみたところ、3～4月が曇天だったにもかかわらず、通常なら75%ぐらいに落ちる接ぎ木成功率が、活着不良や不揃い、奇形葉の発生も見られず、通常時と変わらない95%を確保できました。今年もぜひ取り寄せて、キュウリのほかにスイカでの使用も考えています。



(山形県 尾花沢市 押切園芸代表)  
押切 敏一さん(42歳)